

(別記)

令和3年度富士宮市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当市の農業は、北部地域で畜産、南部地域で茶、その他の地域では水稲や野菜を主たる生産物として展開、地域性を発揮しているところであるが、区画の狭小、不整形といった未整備小規模分散型農地であり、基盤整備の遅れと兼業化の進行が課題とされる。また、経営主の高齢化等から遊休化する農地の増加が見受けられる。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

兼業農家、高齢農家等から農地中間管理機構を通じて、地域の担い手へ水田の利用集積を促進していく必要がある。特に、露地野菜を生産する担い手が育ってきているため、形のよい水田や接道が広い農地から積極的に集積していく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

農業委員会の農地利用調査等において、水稲（水張り）を組み入れない作付体系が数年以上定着している農地の確認に努め、畑地化の支援事業の活用を検討し、水田の活用を促していく。

4 作物ごとの取組方針等

市内の約1,067ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

需要に応じた米作り及び消費者の安全・安心志向を重視した上で、「コシヒカリ」の作付けを引き続き推進していく。

現在、富士宮農協では、ファーマーズマーケットを拠点に地元ブランド米「う宮米」を「地元のお米」として販売するなどして、地産地消を推進している。協議会としてもPR等で積極的に協力していく。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

当市では畜産が盛んであり、飼料用米の需要は大きい。主食用米の需要減が見込まれる中、地域の実需者との複数年出荷契約及び、稲わら提供による耕畜連携の取組を、産地交付金を活用して推進し、作付面積の拡大を目指す。また、多収品種による作付けを継続して推進し、安定して収量を確保するよう努める。

イ 米粉用米

米粉用米を用いた加工品（米粉パン等）を市のイベントで販売する、地域の実需者との契約等の取組を行い、推進していく。また、実需者からの要望に確実に応えられる様、多収品種を活用した取組を推進する。

ウ WCS 用稲

当市では畜産農家の飼養頭数が増加したことで、堆肥の生産量と比べて耕地（草地）面積が不足しており、家畜ふん尿の堆肥利用による流通が求められている。そのため、当市では畜産堆肥を利用する農家に補助金を交付しているが、平成 27 年度から対象農家に飼料用米、WCS 用稲の生産者を加えており、耕畜連携を推進していく。

エ 加工用米

産地交付金を活用しつつ、地元の実需者（酒造等）との結びつきを強化し、生産の拡大を図っていくこととする。

(3) 麦、大豆、飼料作物

地域の実需者との契約に基づき、二毛作も活用しながら、現行の栽培面積を維持する。

(4) そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき、二毛作も活用しながら、現行の栽培面積を維持する。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

キャベツ、落花生、ネギ等の露地野菜や、イチゴ等の施設栽培を推進し、作型、品種等の改善による高収益化を進める。

(6) 畑地化の推進

従前から作付が盛んな露地野菜を推進し、畑地化を積極的に進めていく。

また、加工品等を市の特産品として消費者に周知することで、農家の取組促進を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度 (R2) の作付面積等 (ha)	当年度 (R3) の作付予定面積等 (ha)	R5 年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	415	410	405
飼料用米	4	6	7
米粉用米	1	2	3
WCS 用稲	0	1	2
加工用米	0	1	2
麦	2	3	3
大豆	3	3	3
飼料作物	11	12	12
子実用とうもろこし	0	0	0
そば	4	5	6
高収益作物	119	124	129
野菜	95	97	99
花き	1	2	2
花木	9	10	12
果樹	14	15	16
畑地化	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	R5 年度	
				実績値 (R2 年度)	目標値
1	麦、大豆、飼料作物、そば、なたね	二毛作助成 (二毛作)	作付面積 (交付金対象)	83.10 a	(R5 年度) 120 a
2	飼料用米、わら専用稲	耕畜連携助成 (わら利用)	作付面積 (交付金対象)	101.01 a	(R5 年度) 110 a
3	そば、なたね	そば・なたね 基幹作助成	作付面積 (交付金対象)	0	(R5 年度) 20 a
4	飼料用米、米粉用米	飼料用米、米粉用米 の複数年契約	作付面積 (交付金対象)	408.96 a	(R5 年度) 451 a
5	野菜、果樹、花き、 飼料用とうもろこし	高収益作物等の拡大 への取組	作付面積 (交付金対象)	1738.60a	(R5 年度) 2088a
			高収益作物等の拡大 大面積	496.00a	(R5 年度) 100a
6	野菜、果樹、花き、 飼料用とうもろこし	担い手加算 (高収益 作物)	作付面積 (交付金対象)	1273.87a	(R5 年度) 1500a

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付する。